

2024 大井松田ミニバイクレース

Mクラス 車両規則

車両の排気量は 2st50cc 未満、4st100cc 未満とする。例外として KSR110・GROM125 (HRC 仕様含む) の参加を認める。ピストンはメーカー純正であっても、オーバーサイズの使用は禁止とする。

1. フレームの改造・変更は不可。ただし、走行中に路面と接触する部分がある場合は、最低限の切除が認める。NS50-F のメインフレームカシメ部の溶接による補強は可。
2. ステアの削除、改造、およびメーターやゼッケン、カウル、シートやステップ固定のためのステアの追加及び改造は可。ただし、どの場合も先端は丸みを帯びた形状である事。
3. ハンドル切れ角調整のための改造、パーツの追加は可とするが、その場合のハンドル切れ角は最低 30° 以上を確保する事。
4. ハンドルバー及びクランプ、トップブリッジの改造・変更は可。また、ステアリングステムベアリング及びベアリングレースの改造、変更は可。
5. ステアリングダンパーの使用は可。ただし、ステアリングストッパーとしての兼用は不可。
6. ステップバー及びペダル、ステップホルダー、ポジションプレート、リンクなどの改造・変更は自由であるが、容易に操作できる位置でなければならない。形状は総合規定 4 にしたがって処置されている事。
7. ガソリンタンクは、市販時の状態の物で改造・変更は認めないが、タンクカバーの使用、フューエルコック、ホース及びストレーナー追加、給油口の改造・変更は可。ただし、総合規定 23 を満たしている事。
8. 転倒時のダメージを軽減する為の、アクスルガードやプロテクティブコーンの使用は可。ただし、いかなる場合も先端が丸みを帯びた形状であり、ボルト・ナットが緩まない適切な処置を施してある事。(総合規定-17 参照)
9. メーターの追加、改造、変更、取り外しは可とし、それに伴うセンサーやケーブルの追加や取り外しも可。また、ラップタイマーやデータロガー、GPS 等の装着も可とするが、脱落無き様強固に取り付け、走行の支障をきたさぬ様注意する事。ただし、メーター関連部品のバッテリーを該当部品以外(イグニッション等)に使用する事は認められない。走行中の車両から情報を得る行為(無線やテレメトリーの使用)は不可。
10. ボルト・ナットの変更は可。ただしアクスルボルト、スイングアームピポッドボルト及びエンジン内部については不可。アルミやチタン製のボルト・ナットをエンジン関係(マウント含む)とブレーキ関係に使用する事は、(ブレーキフルード系統、ドレーンボルト、L/R クラッチケースカバーは除く) 安全を考慮し全て不可。チタンを使用したパーツはハイコスト化に繋がるため制限される場合がある。使用及び作成の場合は要確認の事。
11. フレームやマフラーなどにおける、クラックや破損部分の補修加工は可。ただし、性能向上を目的とした物は不可とし、その判断は主催者に一任するものとする。
12. NSR50/mini と NSF100 の、エンジン関連以外の部品の互換性を認める。
13. NS50-F/R の部品の互換性を認める。また、左記車両と NS-1、ape100、XR100-M/R の車体関連部品の互換性を認める。(タンク・ホイールを含む)
14. スイングアーム後端の、チェーンアジャスターボルトの不要部分の切除及びチューブ等を用いての保護は可。またリアフォークエンドキャップの変更は可。

その他の事項は桶川スポーツランドの規則に準拠とする。